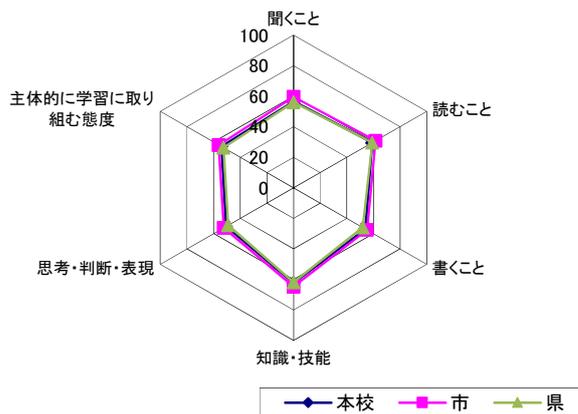


宇都宮市立雀宮中学校 第2学年【英語】分類・区別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	聞くこと	56.7	59.6	56.1
	読むこと	59.2	61.6	59.1
	書くこと	54.0	55.2	51.9
観点	知識・技能	62.3	64.7	61.9
	思考・判断・表現	50.6	52.4	49.1
	主体的に学習に取り組む態度	54.0	56.1	52.5



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
聞くこと	<p>平均正答率が市平均より2.9p下回ったが、県平均より0.6p上回った。</p> <p>○対話の内容を聞き取り、応答する問題では、校内の正答率が県の正答率を上回った。</p> <p>●英文を聞き取り、尋ねられたことに対して自分の考えを英語で答える問題では、正答率が16.5%（県正答率16.0%）とかなり下がった。</p>	<p>・生徒からは「長文だと何が大切な情報なのかよくわからない。」「わからない単語でつまずくと、後が真っ白になる。」という声が聞かれた。聞き取れない単語があることを前提に、推測力を身につける練習や推測する姿勢を身につけさせるための練習を行っていく。</p> <p>・少し長めの英文を聴き、その内容をできるだけ分かりやすく端的にパートナーに伝える活動を行い、要約する力も身につけさせたい。</p>
読むこと	<p>平均正答率が市平均より2.4p下回ったが、県平均より0.1p上回った。</p> <p>○語形・語法の知識・理解を問う選択問題では、校内の正答率が県の正答率を上回った。疑問詞に関する問題の正答率は、県の正答率を5p以上上回った。</p> <p>●長文を読んで取得した情報をもとに、適切な語句や文を選ぶ問題では、県の正答率をわずかに下回った。</p>	<p>・指示語(it, that, the other, this ideaなど)が何を表しているのかを具体的に説明させる問いかかけを、授業で行っていく。</p> <p>・教科書の文章を扱った後に、読み取った内容を基に表を完成させたり、アウトラインのフローチャートを完成させたり、キーワードを用いて図解させたりして、より深く思考させるようにする。</p> <p>また、本文に関する感想や意見を話したり書いたりする活動も設けていく。</p> <p>・語彙力向上のため、単語及び語句のテストを継続して行う。</p>
書くこと	<p>平均正答率が市平均より1.2p下回ったが、県平均より2.1p上回った。</p> <p>○与えられた情報に基づいて、3人称単数現在時制の肯定文を書く問題では、県の正答率を約10p上回った。</p> <p>●対話の流れに合った英文(相手を誘う文)では、正答率が22.9%（県正答率20.2%）と下がった。自身の学校生活について、まとまりのある内容で3文以上の英文を書く問題では、県の正答率をわずかに下回った。</p>	<p>・授業で生徒に提示する英文文では、「①後の文の構成要素となる文のパターン練習(認知・書き写し)」「②既習の言語材料の習熟を兼ね、条件を与えて文や文章を書くこと」「③あるトピックについて、まとまりのある文章を書く」のいずれかを明確にする。</p> <p>・生徒の英作文やスピーチ原稿をALTIにも添削してもらい、より正確で自然な表現力を身につけさせる。</p> <p>・生徒には、ミスを恐れさせることなく、言いたいことを積極的に書き、流暢に表現していくよう助言していく。</p>